



2025年8月期 第1四半期 連結決算説明資料

ktk ケイティケイ 株式会社
代表取締役社長 青山 英生

東証スタンダード/名証メイン 証券コード:3035

目次

1

2025年8月期 第1四半期決算概況

02

2

参考資料

12

1 2025年8月期 第1四半期決算概況

- ・ ITソリューション事業が牽引し、前期比で**増収増益**
- ・ 当四半期は政策保有株式の売却を実施せず、四半期純利益は減益

	2024年8月期 第1四半期	2025年8月期 第1四半期	前期比
売上高	4,110百万円	4,348百万円	105.8%
営業利益	46百万円	64百万円	137.8%
経常利益	84百万円	93百万円	110.7%
EBITDA ※	116百万円	132百万円	113.5%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	71百万円	56百万円	79.5%

※ EBITDA = 当期純利益 + 法人税等 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

2025年8月期 第1四半期決算概況

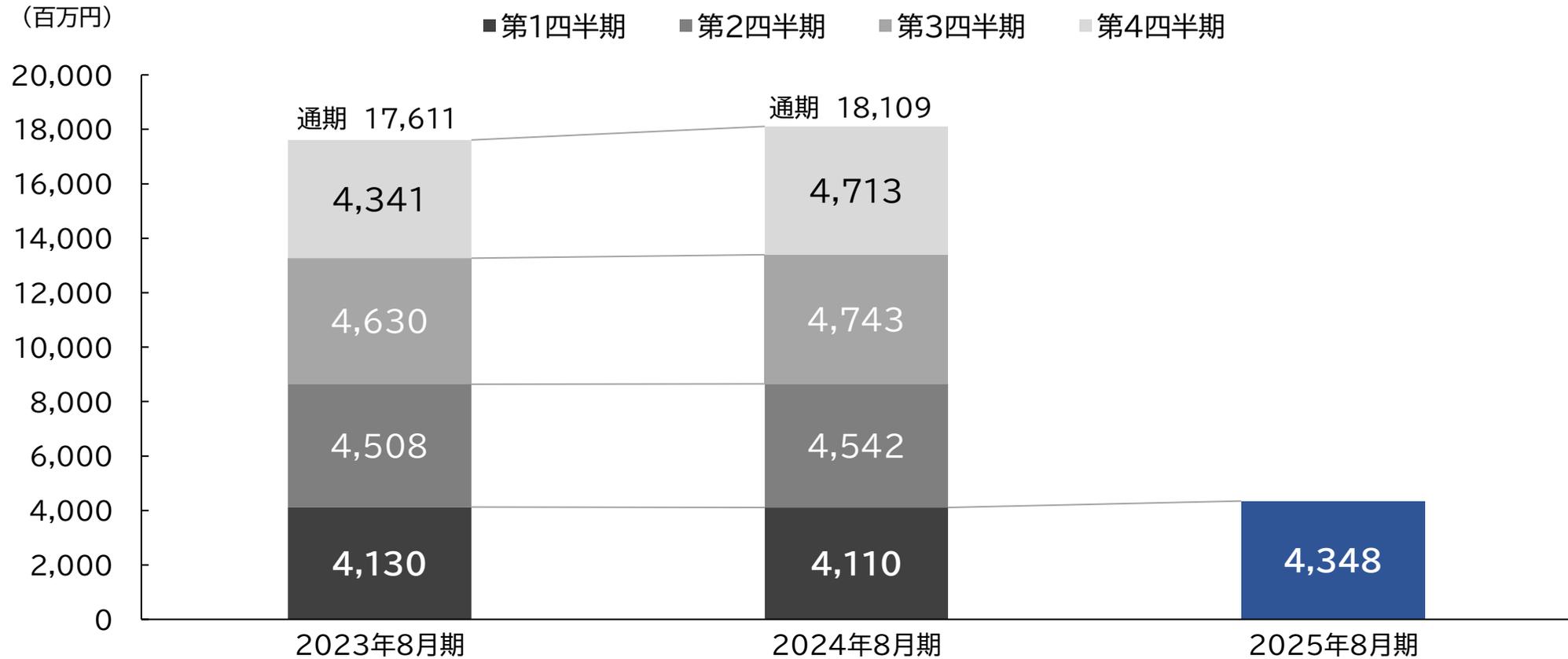
(百万円)

	2024年8月期		2025年8月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前期比	通期予想	進捗率
売上高	4,110	18,109	4,348	105.8%	18,600	23.4%
売上総利益	998	4,237	1,050	105.2%	—	— %
営業利益	46	383	64	137.8%	400	16.2%
経常利益	84	488	93	110.7%	490	19.2%
EBITDA ※	116	626	132	113.5%	641	20.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	71	345	56	79.5%	320	17.6%
1株当たり 四半期(当期)純利益	円 銭 13.08	円 銭 63.50	円 銭 10.36		円 銭 58.78	

※ EBITDA = 当期純利益 + 法人税等 + 特別損益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

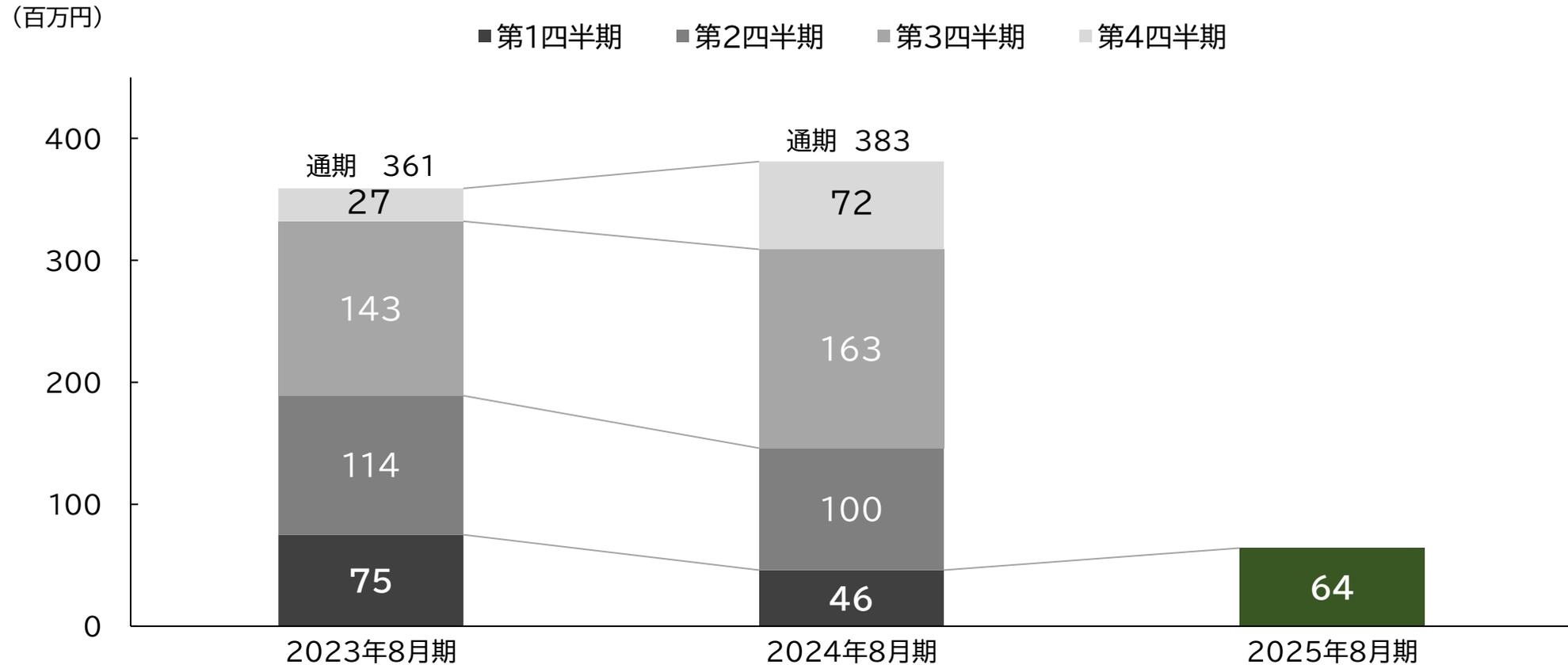
四半期毎の売上高の推移

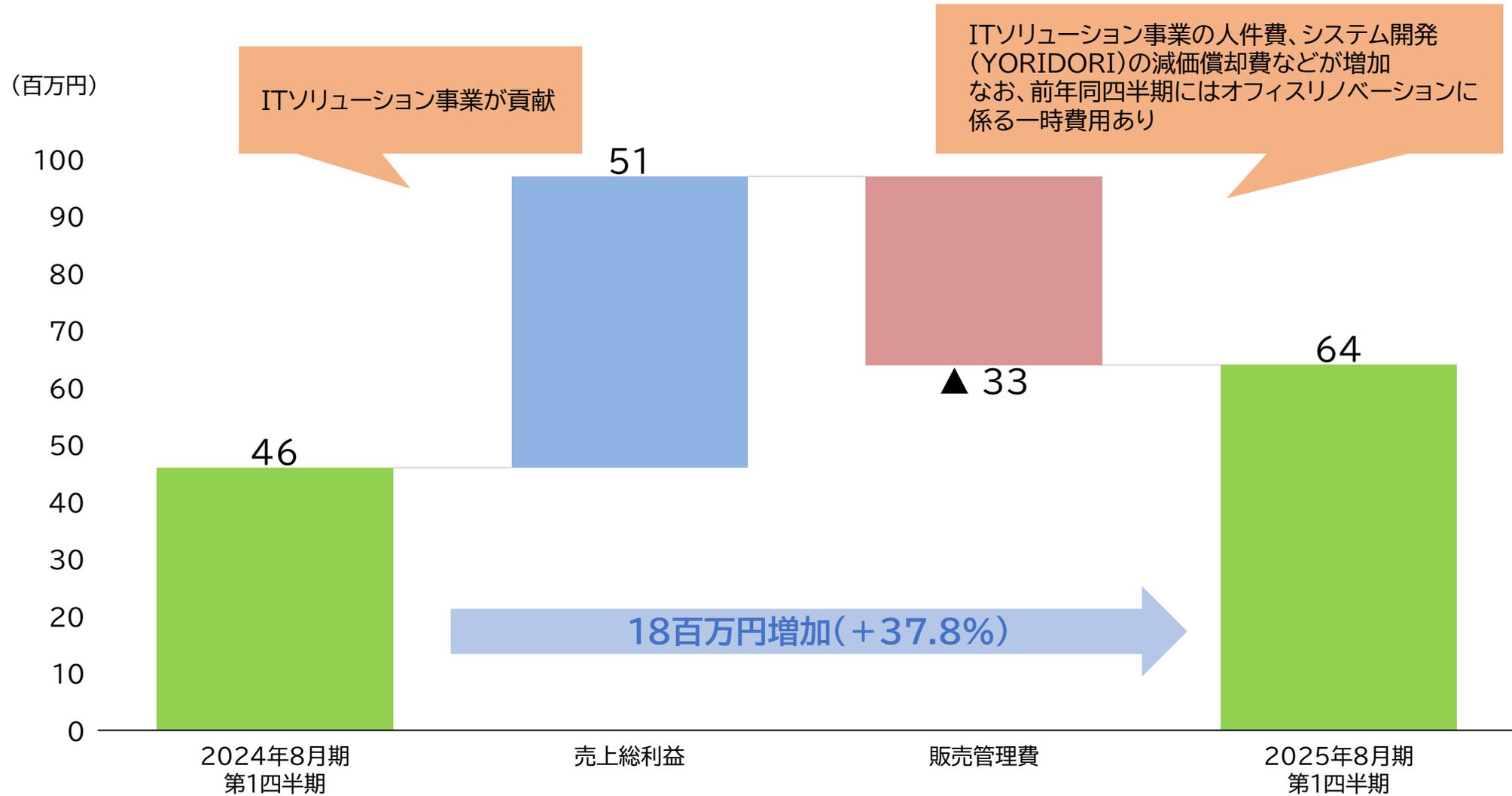
サプライ・ITソリューション事業ともに、**売上が伸長** ITソリューション事業においては、特に**PC販売が好調**



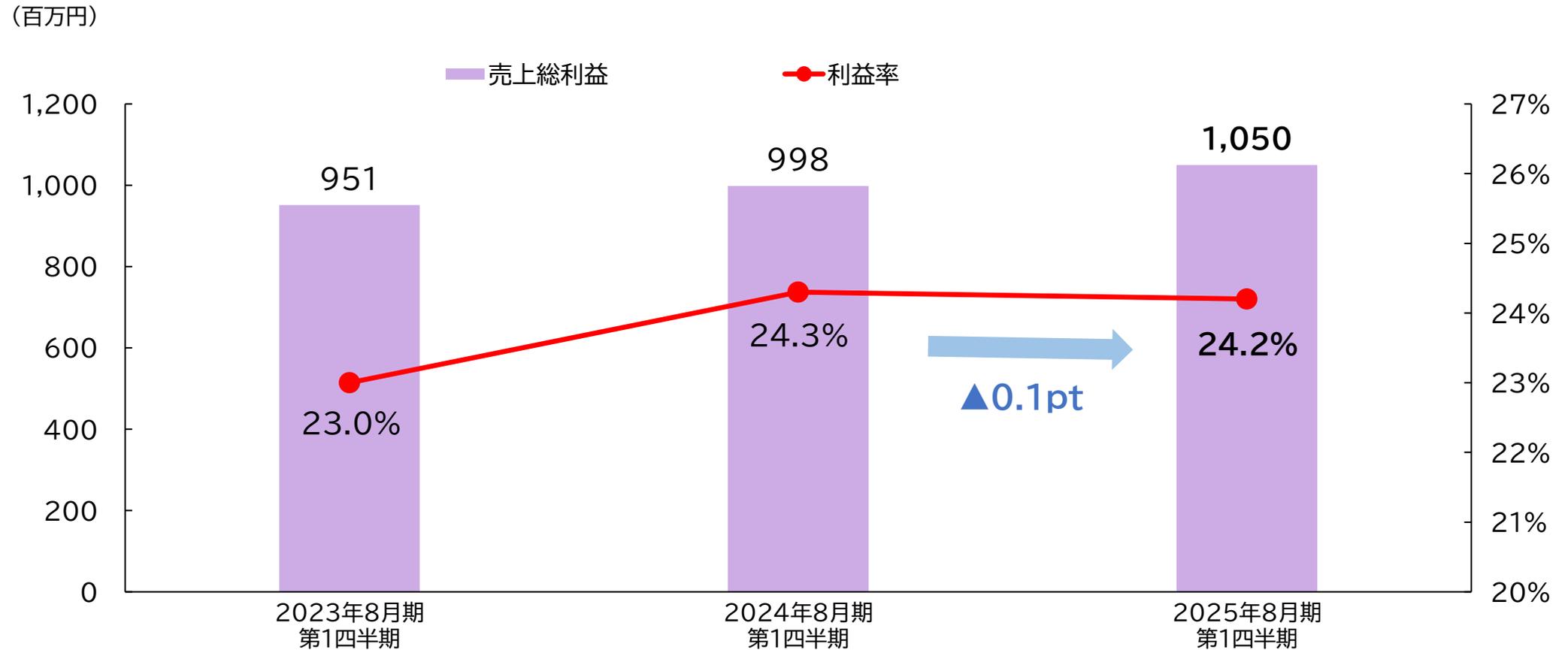
四半期毎の営業利益の推移

ITソリューション事業が貢献し、前年同四半期比で**増益** ただし、先行投資の影響があり、前々年同四半期の水準には届かず





成長事業であるITソリューション事業が伸長し、**売上総利益は増加**
ただし、サプライ事業における利益率の低下が影響し、全体の利益率は若干低下

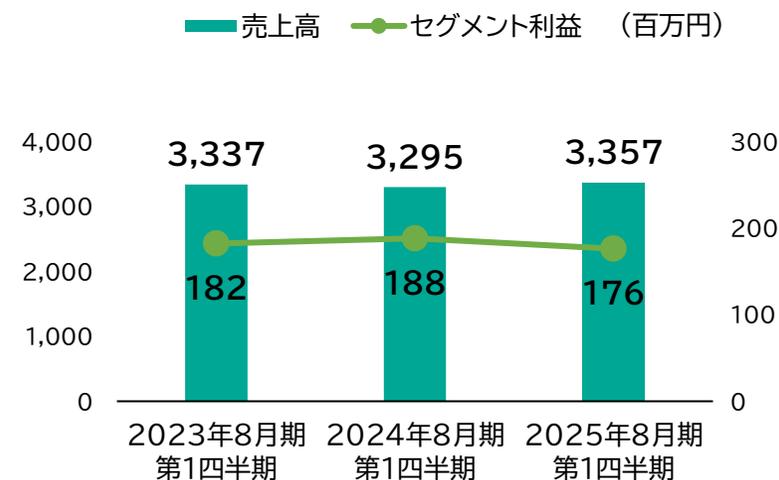


セグメント別実績(サプライ事業)

(百万円)

	2023年8月期 第1四半期	2024年8月期 第1四半期	2025年8月期 第1四半期	前期比
売上高	3,337	3,295	3,357	101.9%
セグメント利益	182	188	176	93.4%

※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費)は、セグメントに配賦していません



サプライ事業の概況

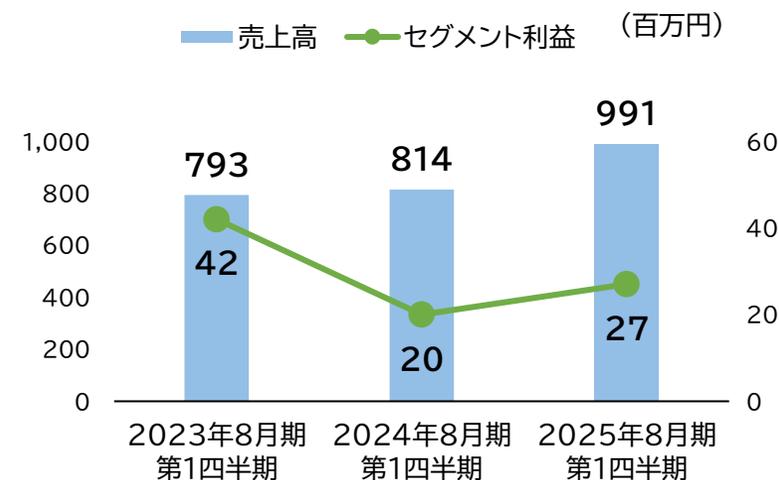
- ・仕入商品の拡販が順調に進み、売上高は増加
- ・一方で、利益率の高い自社製品の販売は伸び悩み、セグメント利益が微減
- ・セグメント利益の減少には、自社ECサイトYORIDORIへのシステム投資に係る減価償却費増も影響

セグメント別実績(ITソリューション事業)

(百万円)

	2023年8月期 第1四半期	2024年8月期 第1四半期	2025年8月期 第1四半期	前期比
売上高	793	814	991	121.6%
セグメント利益	42	20	27	133.4%

※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費)は、セグメントに配賦していません



ITソリューション事業の概況

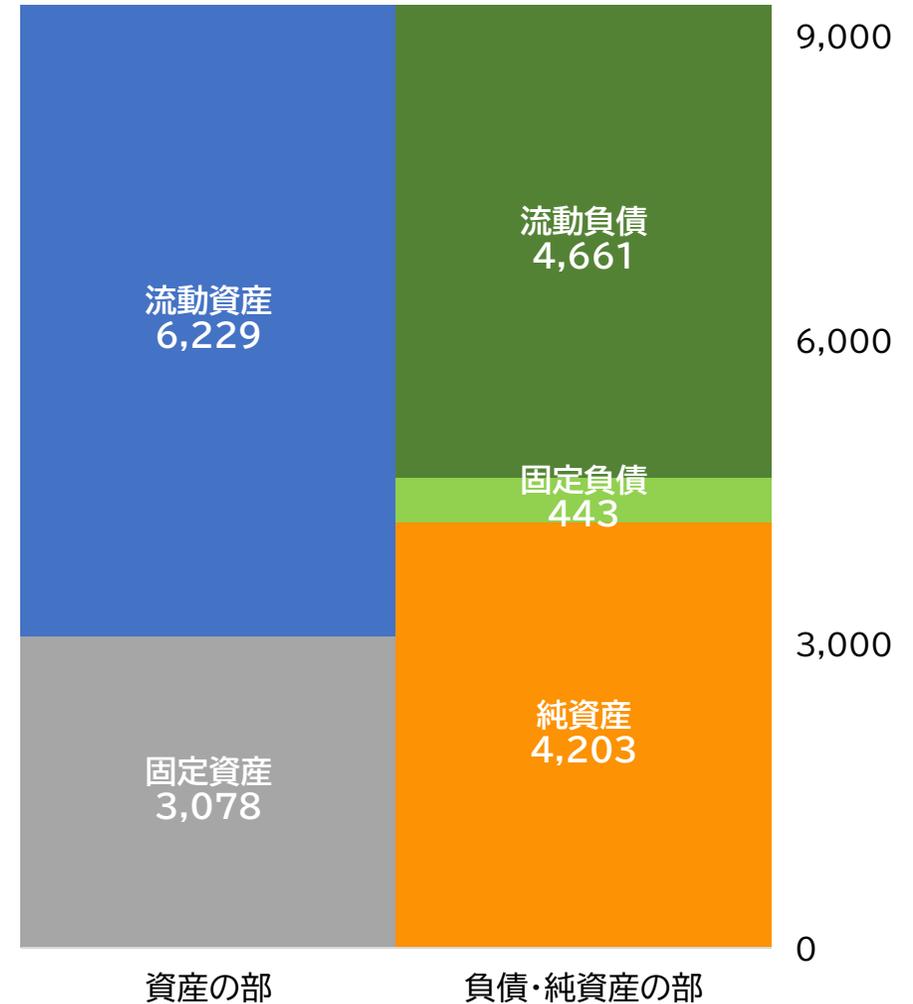
- ・複合機を起点としたビジネス展開(特にPC等のクロスセル)が好調で、増収増益
- ・イコリスのデジタルマーケティングを駆使したEC事業(サプリメント販売等)や、東海桜井のスキヤニングサービスも順調に推移
- ・提案型営業に秀でた人材やIT専門人材を育成中

貸借対照表

(百万円)

	2024年8月期	2025年8月期 第1四半期	増減額
流動資産	5,752	6,229	476
現金及び預金	2,262	2,492	230
受取手形及び売掛金	2,585	2,818	233
商品・その他の資産	905	918	12
固定資産	3,113	3,078	▲35
有形固定資産	1,594	1,581	▲13
無形固定資産	345	345	▲0
投資その他の資産	1,173	1,151	▲21
資産合計	8,866	9,308	441
負債合計	4,656	5,104	448
流動負債	4,168	4,661	493
固定負債	487	443	▲44
純資産合計	4,210	4,203	▲7
負債純資産合計	8,866	9,308	441
自己資本比率	47.5%	45.2%	▲2.3pt

(百万円)



2

參考資料

トナーカートリッジのマネジメントと顧客のトナー利用状況の見える化を目的に、製造直販の強みを発揮した顧客参画型の仕組みを構築（特許出願中）



YORIDORI お客様

- ・業務効率化
- ・環境貢献値の数値化

ポイント取得
1サイクルでYORIDORI
ポイントを計50ポイントGET!



ktk

返却いただいた使用済み
カートリッジをリサイクル

- ・廃プラスチック量削減
- ・CO2排出量削減



廃プラスチック削減量	実質 CO2 排出削減量
約 0.4 kg	約 0.8 kg

SCANNING SERVICE

紙文書の電子化 活用のメリット

- ✓ 検索性が向上し、必要な書類を簡単に探し出せる
- ✓ 場所を問わず、資料を閲覧することが可能になる
- ✓ 紙の文書の保管スペースが削減でき、オフィスの有効活用ができる
- ✓ 万が一の災害、紙文書の盗難や紛失の対策としてのバックアップ



製本された
ままでOK

書類を
箱詰めして
送るだけ



スキャニングの対象



ファイル文書



紙図面



作業報告書・契約書等

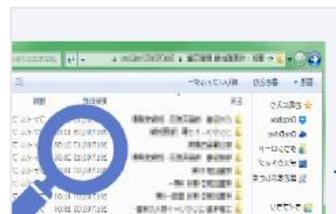


領収書・帳票

3つの特徴



通常サイズから
大判まで対応

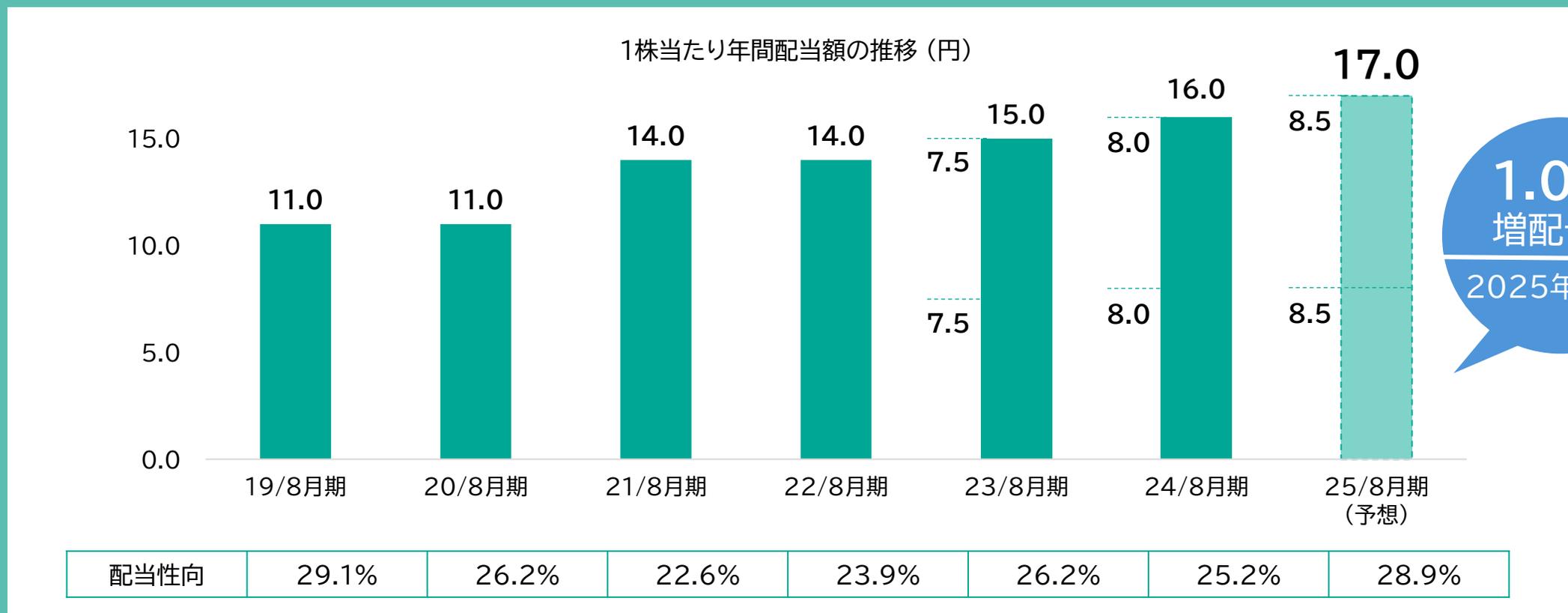


簡単検索
インデックス機能



特殊用紙にも対応

- 連結配当性向30%を目途に、戦略投資とのバランスをとりつつ、安定的・継続的な株主還元を実施
- 2025年8月期は、前期より1.0円増配し、1株当たり年間配当額17.0円(連結配当性向28.9%)の予想



商号	ケイティケイ株式会社(ktk INC.)	
設立	1971年6月29日	
資本金	2億9,467万円	
代表取締役	青山 英生	
従業員数	175名	
拠点	営業拠点 18拠点 / 生産拠点 2拠点 物流拠点 2拠点	
事業内容	リサイクルトナー等のプリンター消耗品の製造・販売 OA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 インターネット等の通信販売を利用した商品等の販売 DX推進のITソリューション商品の販売	

■ 自社生産のリサイクル商品

主力のリサイクルトナーは、品質管理を徹底した長野県駒ヶ根市の自社工場で生産



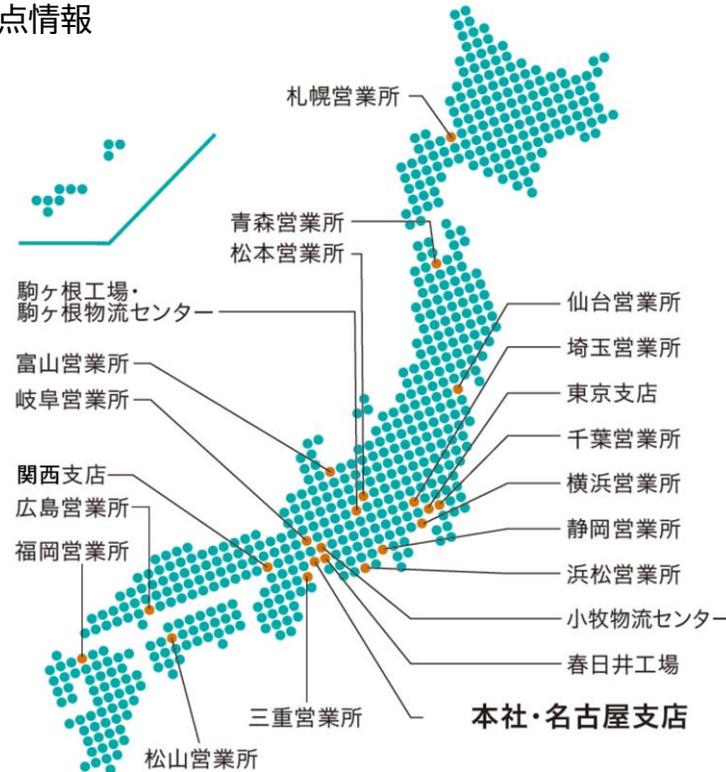
■ WEB発注システム

約100,000点のアイテムを取り揃えた独自のWEB発注システム **YORI DORI**
お客様専用カスタマイズも可能

約600,000点の豊富な商品を掲載する
ITソリューション専門のBtoB通販サイト

YORI DORI+plus

■ 拠点情報



本社外観（名古屋市東区）



株式会社青雲クラウン



拠 点	営業拠点 5拠点(名古屋/岐阜/津/豊橋/長野)
事 業 内 容	文具卸売/オフィス環境/店舗開発
従 業 員 数	74 名

オフィス用品の総合商社として、調達から物流までのサプライチェーンを構築しオフィス環境を総合的にサポート
店舗開発事業として文具専門店のプロデュースも実施

株式会社キタブツ中部



拠 点	物流拠点 1拠点(小牧)
事 業 内 容	ロジスティック事業/倉庫業
従 業 員 数	4 名

物流を一元管理することで、コスト削減や効率化を実現しお客様のニーズに対応
オフィス用品を中心に33,000アイテムを常時管理保管

株式会社イコリス



拠 点	営業拠点 1拠点(名古屋)
事 業 内 容	デジタルマーケティング/EC事業
従 業 員 数	4 名

ネットビジネスのアルゴリズム解析のノウハウを生かしたWEB広告、デジタルマーケティング、EC運営支援、サプリメントなどを取り扱うEC事業

SBMソリューション株式会社



拠 点	営業拠点 2拠点(名古屋/岐阜)
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	33 名

最適なドキュメントソリューションの提案をはじめ、PCやセキュリティ機器等の情報通信システム・ネットワークの構築、運用、保守サポートを提供

株式会社エス・アンド・エス



拠 点	営業拠点 1拠点(瀬戸)
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	4 名

愛知県瀬戸市を中心に、複合機をはじめとしたドキュメントソリューション、PCやセキュリティ機器など、オフィスに必要なIT機器を提供

東海桜井株式会社



拠 点	営業拠点 1拠点(名古屋)
事 業 内 容	CAD・図面関連/ITソリューション
従 業 員 数	8 名

図面用消耗品販売、図面用製本の作成、図面・書類のスキャン・電子化、CAD・プロッター等の機器・システムの販売、複合機等 OA 機器のレンタルなどを展開

経営理念

“お客様の発展をトータルでサポートし、
お客様にお喜びいただき、
社会に貢献する”

サステナビリティ基本方針

“事業活動と経営戦略の中心に
SDGsの理念を据え、
持続可能な社会の実現に
貢献する”

Change
the office
mirai

長期ビジョン

Change the office mirai



社会を変える

リユースリサイクルが当たり前のミライを目指し、
SDGs・循環型社会に貢献します



お客様のオフィスを変える

お客様にDXソリューションを提供し、中長期的な信頼
関係を築きながら、お客様のミライを変えていきます



自分たちが変わる

社員が価値を発揮できるよう、人材投資を継続的に行い、
自分たちのミライを変えていきます



EARTH NOTE(アースノート)とは

「SDGsの取り組みを共有し、循環させる」がコンセプトのWEBメディア

目標達成のアイデアや手法をWEB上で共有して全国に広めることで、SDGs達成に向けた取り組みのさらなる活性化を図ります

ケイティケイの
SDGsへの取り組み▶



EARTH NOTE

<https://www.yoridori.jp/earth-note/>



企業・自治体のインタビュー記事や、
様々なお役立ち情報を発信



59の企業・団体様にご賛同いただき、取材記事を掲載中
(2024年8月現在)

当社で活躍する女性社員が「あいち女性輝きカンパニー推進企業特集」で紹介されました



ktk ケイティケイ 株式会社

柔軟性の高い職場づくりで「未来を変える」

当社は、創業50周年を機に「Change the office mirai」をビジョンに掲げ、リサイクルトナーの製造販売を通じたSDGs貢献、DX推進など、幅広く事業を展開してきました。「未来を変える」というビジョンの下、当社グループでは積極的に女性採用に取り組んでおり、2024年度の新卒入社社員は5名中4名が女性です。

私はDX推進グループのグループ長として、データやAIを活用し、営業活動や業務の効率化を進めています。また、デジタルスキル向上のための社内教育を行い、すべての人が積極的にスキルアップに取り組んでいけるようサポートしています。働きやすい環境と周囲の理解のおかげで、子育てと仕事の両立ができています。

また当社には、最長2年間の育児休業に加えて、子が小学校3年生を終了するまで取得可能な育児短時間勤務の制度があります。さらに、地方営業所でも本社業務が可能となるシステム構築などの環境面も整備されており、高い育休取得率・復職率を実現しています。

テレワークの活用をはじめとする柔軟な働き方により、社員一人一人の「仕事と家庭の両立」を実現することで、今後もグループ全体の持続的な成長を目指して取り組んでいきます。

【会社概要】
住所 / 名古屋市東区泉二丁目3番3号
電話 / 052-931-1881(代) FAX / 052-932-5459
HP / <https://www.ktk.gr.jp/>
従業員数 / 175人(うち女性60人)
※2024年8月20日現在

ミーティングの様子

職場の声 / DX推進グループ長 菅井ゆかりさん

2024年8月28日 中部経済新聞

(単体)

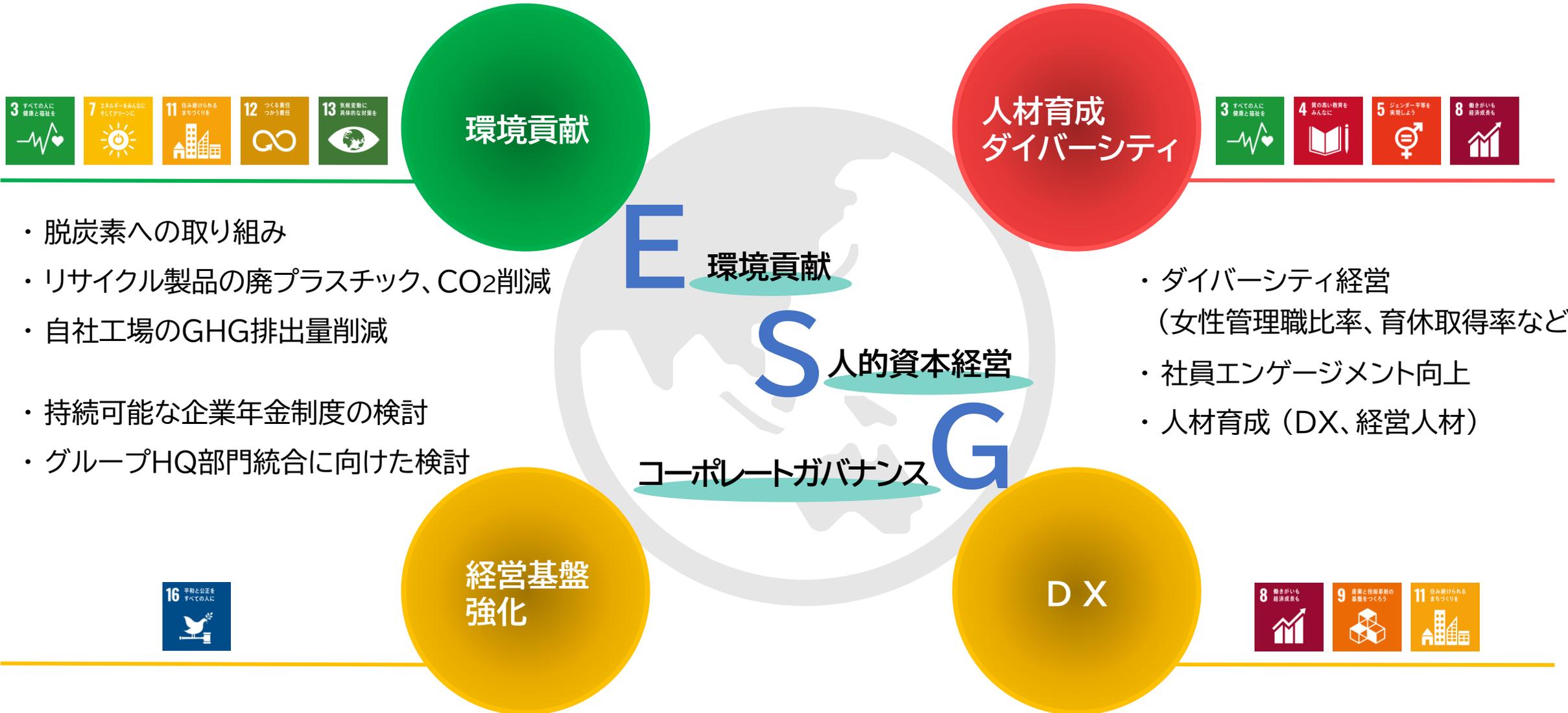


「ktk FactBook 2024」より
(2024年11月 開示)

男女の賃金の差異		51期 2022年8月期	52期 2023年8月期	53期 2024年8月期	目標
男女間賃金格差	%	77.5	78.6	77.1	90.0
男性 平均給与	千円	4,677	4,651	4,862	—
女性 平均給与	千円	3,624	3,655	3,750	—

管理職に占める女性の割合		51期 2022年8月期	52期 2023年8月期	53期 2024年8月期	目標
女性管理職比率	%	6.5	8.0	8.2	20.0
女性 管理職数	名	3	4	4	—

男性の育児休業取得率		51期 2022年8月期	52期 2023年8月期	53期 2024年8月期	目標
男性育児休業取得率	%	0.0	50.0	100.0	100.0
男性 取得者数(対象者数)	名	0 (3)	2 (4)	2 (2)	—



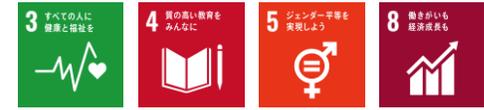
環境貢献

- ・ 脱炭素への取り組み
- ・ リサイクル製品の廃プラスチック、CO2削減
- ・ 自社工場のGHG排出量削減
- ・ 持続可能な企業年金制度の検討
- ・ グループHQ部門統合に向けた検討



経営基盤強化

**人材育成
ダイバーシティ**



- ・ ダイバーシティ経営
(女性管理職比率、育休取得率など)
- ・ 社員エンゲージメント向上
- ・ 人材育成 (DX、経営人材)

DX



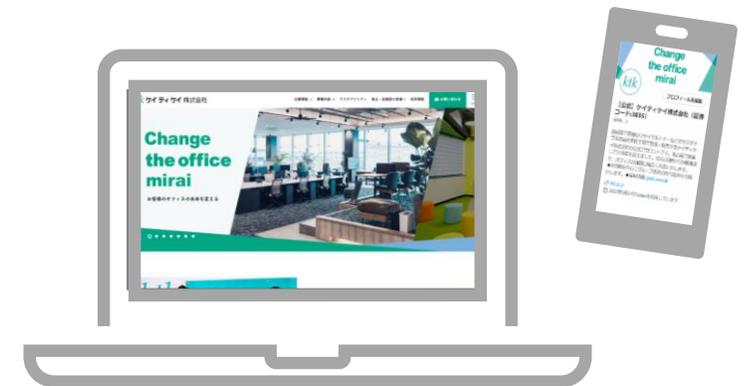
ケイティケイのサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)

本資料に関するご注意

本資料には、ケイティケイ株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく見込みです。また、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません）を含んでいます。そのため、当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる可能性があります。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

お問い合わせ先	ケイティケイ株式会社 IR担当
所在地	愛知県名古屋市東区泉2-3-3
電話	052-934-2260
メールアドレス	ir@ktk.gr.jp
HP	https://www.ktk.gr.jp/
X(旧:Twitter)	@ktk_ir





見やすく読み間違いにくい
ユニバーサルデザインフォント
を使用しています